

# 令和4年度 事業報告

## I. 本部事業

### 1. 障害児教育の強化増進事業

- 教育支援委員会に参画 7回
- 出石特別支援学校、豊岡聴覚特別支援学校、見学・体験・実習等 13回

### 2. 障害児者とその家族への理解促進・人権擁護推進事業

- 豊岡市自立支援協議会関連 3回  
豊岡市障害者福祉計画策定委員会 1回

- 育成会だよりの発行 各 700部 年4回発行

- 第1号 6月30日発行
- 第2号 9月30日発行
- 第3号 12月29日発行
- 第4号 3月31日発行

- 障害者福祉に関する研修活動

但馬ブロック研修会 「財産管理等について」

11月9日 朝来市 あさご・ささゆりホール 16名参加

- 他団体主催の研修活動への派遣

第61回近畿知的障害者福祉大会

10月23日 奈良県 オンライン5名参加

第66回兵庫県障害者福祉大会

10月21日 猪名川町 11月22日オンライン7名参加

障害児等職業体験事業（県育成会事業）

12月3日 キッザニア甲子園 3名参加

- 地域生活支援事業研修会

「防災学習会」講師 防災士 福井直美氏

8月26日 豊岡市民プラザ活動室 12名参加

- つくし保護者会研修会

7月7日 6名参加

11月10日 10名参加

### 3. 障害児者とその家族に係る相談事業

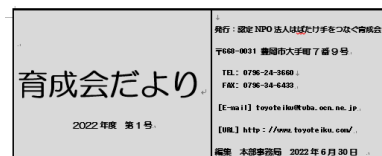
- 知的障害者相談員1名（豊岡市より受託）による相談業務

### 4. 障害児者とその家族と市民の交流活動

- フェスタはばたけ 13th

12月17日 豊岡市民プラザ

ほっとステージ 利用者・職員による演目「和太鼓演奏」「はばたけ演技」



#### 新年賀を込めて～理事長よりご挨拶～

6月19日第18回理事会を行いました。  
今年度は大方りに、関係市長様はじめご来賓の皆様をお迎えして、会員の皆様にも出席いただき感謝させていただきましたことお礼申し上げます。  
当会では、コロナ禍で活動に様々な制限が課せられ、1人1人学生・チャリティに！も自費に納付やフェスタなどの活動は中止することなく続けてまいりました。またこの間、福祉サービス事業においては、出石特別支援学校の卒業生や他種から移行される新規利用者受け入れも進める中で、2019年12月に開設したグループホームも満杯となり、追加施設も完備しつづける状況です。また、長年の歴史ある豊岡市の知的障害者福祉センターも運営の充実を図るなどして進めたいと考えています。  
引き続き障害者団体として、当事者として、地域住民として、自助・共助の取組を進められる限り進めていく所存です。会員・職員の皆様とともに、障害者が地域で当たり前に、生き生きと暮らせる街の実現に向け進んでまいりますので、ご支援ご協力いただきますようお願いいたします。  
理事長 中村 隆幸

#### 就労継続支援B型 さいふより

日常生活、日中活動で利用者さんを見ていくと、不安や悩みがいろいろあることがわかりました。困りごとや不安を感じておられる方が多く見られます。そうした状態を克服し、自立した生活を送ることができるよう支援していきます。具体的な支援は、生活、学習、イラストを用いたじっくりと相手のペースに合わせて、さいふよりで進められる時間があります。楽しく、安心できるものになるよう取り組んでまいります。  
約2年ぶりにトライやるウィークを実施し入会することになりました。お互いに、期待と不安の中スタートしました。交流を重ねるうちに、中学生の皆さんと利用者さんともに打ち解け、充実した1週間になりました。これからも利用者さんご自身のペースで、笑顔がいっぱいで楽しい就労継続支援B型を続けてまいります。ご期待ください。



芸術文化専門職大学生による体感型劇場「CAT・豊岡」  
はばたけ緑日、アート展、カフェ、キャンドル作り体験、お茶席

5. 障害児者の文化・スポーツ推進事業

○ 本人部会活動

実施日	活動内容	参加人数
4月16日	イースターエッグづくり	40人
4月29日	ゲーム大会	41人
5月14日	竹野子ども体験村	42人
5月28日	カラオケ	30人
6月25日	はばたけスポーツ大会	51人
7月16日	はばたけレクリエーション	42人
7月30日	映画（シング）	27人
8月11日	映画（河童のクゥと夏休み）	25人
8月20日	面白ビデオとビンゴゲーム	34人
9月17日	カレンダー作り	35人
9月23日	OLU スポーツ	36人
10月15日	秋祭り	44人
11月3日	映画（ロラックスおじさんの秘密の種）	36人
11月23日	ボウリング大会	42人
12月3日	カラオケ	23人
1月21日	すごろく	36人
2月23日	映画（スタンドバイミー ドラえもん2）	33人
3月25日	ボウリング大会	39人
年間総参加人数		656名

6. 障害児者福祉サービス事業

多機能施設はばたけ（すいーつ 就労継続支援B型・じゃんぷ 生活介護）

ほっと 生活介護

ヘルパーステーションはあと 居宅介護、行動援護、移動支援、重度訪問介護

OHANA「あお-1」・サテライト「あおぞら」 共同生活援助

OHANA「あお-2」「にじ-1」 共同生活援助・短期入所

OHANA「はるぞら」 共同生活援助

つくし 障害児通所支援

7. 福祉有償運送事業「くれよん」

登録利用者数 32名

年間総走行距離数 6,681 km

年間総運行回数 999回



8. 事業継続企画推進室

○ 法人本部及び各障害児者福祉サービス事業のバックアップ（後方支援）業務と  
対外窓口業務

- 人事・労務管理業務全般及び新規人材獲得と育成・研修業務  
年間応募・採用人数（実績）  
新卒 3名（うち3名 採用）  
中途 17名（うち11名 採用）
- 業務効率化に向けた業務フローの整理と IT 化に向けた取り組み
- 新規事業に向けた準備業務

## II. 障害福祉サービス事業（日中活動）

### 基本方針

利用者一人ひとりのニーズを的確に把握し、日中活動を通じて、達成感・充足感を持ち、健康で自立した日常生活又は社会生活を送ることを目指す

### 事業報告

#### 1. 多機能施設 はばたけ

##### 〈1〉すいつ 就労継続支援 B 型

- 就労・生産活動に必要な知識を身につけ、能力向上のための訓練を実施した
- 作業を通じて、集中力・責任感・主体性や社会性を高め、働くことへの自信・意欲の向上に努めた
- 利用者の能力・意欲を引き出すよう指導・配慮及び環境整備を行い、生産力・売上・工賃の向上を図った
- 作業意欲の維持・向上のため、作業以外の活動を再検討し、実施した
- 新規利用者を1名受け入れた
- 12/1 より製菓部門の名称を「pono」に変更し、新商品・リニューアル商品の販売をスタートした

##### (1) 製菓部 「pono」

- 焼菓子等の製造・販売を行った
- 「pono」の始動にむけ、新商品・リニューアル商品の開発を行った  
また、合わせて外装・シール類などのリニューアルを行った
- 新商品のリーフレットを作り、委託先など内外に向けて説明を行った
- 新たな委託販売先の開拓に向け企画会議を行った
- 焼菓子以外の商品の開発・製造・販売に向け企画・検討を行った
- ネット販売に向け、企画・準備を行った

##### <焼き菓子販売実績>

委託販売先：10 店舗

令和4年	9月2日	日高高等学校 学校祭 (焼き菓子販売のみ)
------	------	--------------------------

※新型コロナウイルスの影響のため、各種イベント等中止・縮小

##### (2) 配食サービス「もみじ家」

- 法人内部への食事の製造・提供を行った
- 法人外部への販路拡大を視野に入れ、カフェ店舗での販売を行った
- 調理作業に携わる利用者の増員・育成に努めた



### (3) カフェ業務「HABATAKE Sweets Café」

- 集客力増加のため、情報誌への掲載等の広報活動強化を図った
- 定期的な移動販売出店先の確保に向け企画・検討を行った
- 新商品・新メニューの企画・開発を行った
- カフェ業務に携わる利用者の増員・育成に努めた

#### <店舗販売実績>

営業日数：230日

#### <移動販売車販売実績>

令和4年	8月5日	城崎ふるさと祭り
	9月2日、3日	豊岡高等学校 学校祭
	9月9日	豊岡高校 学校祭
	9月22日	豊岡高等学校定時制 学校祭
	11月7日	三方地区祭り
	11月9日	但馬ブロック研修
	11月14日	豊岡短大 学校祭
	12月5日	但馬米穀感謝祭
	12月17日	フェスタはばたけ 13th
令和5年	3月19日、20日	出石初午大祭

※新型コロナウイルスの影響のため各種イベント等中止・縮小

## 〈2〉じゃんぷ 生活介護

- 安全安心な環境づくりに努めた
- 利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有として各利用者個別の健康状態把握に努めた
- リハビリ・機能訓練を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた  
(リハビリ的運動、ストレッチ、嚥下運動、ウォーキング、ビジョントレーニング等)
- 日常生活上の支援として身体機能・必要な生活能力の維持・向上に努めた
- 配達・カフェ利用・買い物学習等を通じて、社会性の向上に努めた
- 利用者個人の能力を最大限発揮できるよう作業・活動を提供し、達成感・自主性・自立性を高め、社会参画の場を増やしていくため、作業内容・活動内容の見直し・改善を行った  
(アート、音楽、朗読、運動、歩行、買い物、紙すき、製菓の外装に関わる作業、クッキーのタグ作り、クッキー配達、チラシ配り 等)
- 新規利用者を1名受け入れた

## 2. ほっと 生活介護

- 安全安心な環境づくりに努め、個別に利用者の障害特性に応じた対応を行った
- 利用者個別の健康状態把握とスタッフの医療的知識向上を意識し、利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有に努めた  
また、LAULAU 特殊浴槽を利用した入浴サービス提供を継続し、利用者の健康維持に努めた
- 自主性や社会性を育み、やりがいと達成感を得るべく、利用者それぞれに合った役割・仕事・活動の提供に努めた

- リハビリ・機能訓練的運動を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた  
(リハビリ的運動、ストレッチ、ウォーキング等)
- 協調性や積極性を養うため、ほっと全体行事としての活動の提供に努めた
- 外部講師による音楽療法は、新型コロナウイルスの影響により未実施
- 拠点ごとの会議を強化し、職員間での情報共有・支援力強化に努めた
- 新規利用者を1名受け入れた  
また既に在籍している利用者1名が週2回利用から全日利用に変更になった



### (1) LAULAU

- 利用者の自己表現を尊重し、集団での活動を行う中で、自分の役割や居場所を見つけ、やりがいを感じ取っていただくため、活動内容の見直しを行った  
また、利用者それぞれの個別の活動・作業への支援見直しを行った
- スヌーズレンルームを活用し、活動環境の充実を図った

### (2) 塩津出張所

- 利用者それぞれに合った形での自立の方法を探り、利用者個人の能力をより発揮できるように作業や活動を提供した  
そのうえで、地域貢献を目指し、より自主的・自立的な社会参画に向け、新たな活動・作業を取り入れ、利用者の活動意欲向上に努めた
- より良い環境で活動を行うため、建物を増築し、活動環境の充実を図った

## 3. 共通事項

### (1) 施設外活動

#### ○ 太鼓クラブ

週2回 (火曜日・木曜日 12:45～ 30分程度)

月2回 外部講師による指導を受ける (1時間半程度)

※新型コロナウイルスの影響により、実施回数減

#### ○ 研修旅行の実施

主体性を育み、幅広い体験から社会性を高めることを目的とし研修旅行を実施した

※新型コロナウイルスを考慮し、利用者の障害特性・ニーズに応じ各事業・グループごとの研修旅行を実施した

日時 : 9月29,30日、10月13,14日、21日、26,27日

場所 : 鳥取・神戸 (燕趙園・砂の美術館・神戸ネスタリゾート)

#### ○ お茶会の実施 年2回

楽しみながら礼儀作法を身に着けるため、外部講師より指導を受けた

※新型コロナウイルスの影響により、実施回数減



### (2) 地域交流

- イベント・活動等へのボランティア受入や地域イベントへの参加は新型コロナウイルスの状況をみながら実施した
- トライやるウィーク、中学生受け入れ はばたけ2名
- 特別支援学校生、実習受け入れ ほっと4名 はばたけ4名
- フェスタはばたけ13thに参加し、地域の方との交流の促進に努めた

### (3) 安全衛生・危機管理

- 感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・O-157・ノロウイルス）対策を強化し、衛生管理を徹底した
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策委員会を開き、感染拡大防止・衛生管理に努めた
- 防災避難訓練を、2回実施した
- 洪水時避難訓練を、1回実施した

#### (4) 職員研修

- 法人内部で職員に対し、基礎研修や現任研修の充実を図った
- 外部研修会へ積極的に参加し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った
- 各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った
- 各種専門職の資格取得の奨励を行った



### Ⅲ. 障害福祉サービス事業（生活支援）

#### 基本方針

利用者が地域で安心安全に、そしていきいきと暮らしていくために、一人ひとりのニーズを的確に把握し、生活全体の充実を目指す

#### 事業報告

##### 1. ヘルパーステーション はあと

- 利用者が、地域生活に必要な知識、技術、行動、習慣を身につけるための支援を行った

【身体介護】食事介助・排泄介助・入浴介助・起居介助・服薬介助等日常生活に欠かす事が出来ないサービスを提供した

【家事援助】食事作りの援助・掃除（衛生面）の援助等自立した生活へむけて必要な援助を提供した

【通院等介助】利用者の安定した健康管理のため、定期的な病院受診への対応を行った  
新規利用者3名を受け入れた

【行動援護】行動障害に対応できるよう、ヘルパー個々の支援スキル向上に努め、利用者それぞれに合った形での自立の方法を探り、外出を楽しめる様に取り組んだ

強度行動障害利用者の支援において、支援方法・支援体制の強化・拡充を図った

新規利用者1名を受け入れた

【移動支援】商業施設等へ出かけ、利用者が目的を持ち余暇を楽しむ事が出来る様に支援を行った

【重度訪問介護】利用者の安全安心な生活に向け、重度の知的障害・行動障害に対応するべく、環境整備・ヘルパーの支援力向上に取り組んだ

サービス名	登録利用者数	延利用者数	総利用時間
居宅介護	21名(18名)	3,940人(3,708人)	4,617.5時間(4,516時間)
行動援護	14名(13名)	2,274人(2,157人)	1,857時間(1,981時間)
移動支援	25名(24名)	506人(547人)	746.5時間(707.5時間)
重度訪問介護	3名(2名)	675人(659人)	3,267.5時間(3,675時間)

※（ ）内は 前年度

## 2. グループホームOHANA 共同生活援助

- 定期的に個々のケース会議を開き、他事業との情報共有を図り利用者の生活の充実を図った

### (1) 共同生活援助

- 個々のニーズに沿った個別支援計画に基づき、利用者に対する支援の向上に努めた
- 相談、食事の提供、健康管理、金銭管理の援助、入浴・排泄等の介助、日中活動に関わる他の事業所や関係機関との連絡調整を通じて、日常生活全般の支援を行った
- 家族との信頼関係の強化や情報の共有を図り、適切な支援サービスの向上に努めた
- 利用者の自立に向けた支援方法確立に努めた

<入居者 26名 (あお-1 5名、あお-2 8名、にじ-1 6名、はるぞら 7名) >  
(令和5年3月31日現在)

<総利用者数と総開所日>

共同生活住居名	総利用者数	総開所日
あお-1	1,696人 (1,731人)	365日 (365日)
あお-2	2,495人 (2,223人)	365日 (365日)
にじ-1	1,679人 (1,485人)	365日 (365日)
はるぞら	2,444人 (2,357人)	365日 (365日)

※ ( ) 内は 前年度

### (2) 短期入所

- 短期的な入所を必要とする障害者児に対し、適切なサービスの提供に努め、緊急時にサービスを提供できる体制作りに努めた

<利用者数と利用延べ日数>

共同生活住居名	利用者数	利用延べ日数
あお-2	1人 (0人)	6日 (0日)
にじ-1	2人 (1人)	107日 (45日)

※ ( ) 内は 前年度

## 3. つくし 障害児通所支援

- 安全安心な環境づくりに努めた
- 利用児の健康維持・管理の徹底に努めた
- 個々のニーズに合わせた療育的内容・リハビリ的運動・機能訓練を実施し、利用児の自発的な力を引き出した
- 利用児が理解しやすく、活動しやすい環境配慮に努めた
- 利用児の状況に応じて、適切な技術をもって支援を行った
- 保護者の会を定期的に開催し、相談・要望を聞く機会を設けた



### (1) 放課後等デイサービス

- 利用児及びその家族が希望する生活や、利用児の心身の状況を把握し、適切な相談・援助を行った  
(学校・家庭訪問、保護者の会、保護者参観、職員ミーティング 等)
- 日常生活能力の維持・向上を図った  
(日常生活訓練、社会適応訓練、ソーシャルスキルトレーニング、

- コミュニケーション支援 等)
- バイタルチェックや投薬、その他必要な管理・記録を行いながら、健康管理に努めた
- 計画に沿って個別活動、集団活動、社会参加の充実を図り、利用児の活動の幅を広げることに努めた
- (絵画、公共施設の利用、自立のための集団活動、ワーク、カード支援、ソーシャルスキルトレーニング、音楽療法、機能訓練、TEACCHプログラム 等)

(2) 児童発達支援

- 受け入れ準備にとどまり、利用には至らなかった

<登録利用者数 放課後等デイサービス 24名 児童発達支援 0名>

	総利用者数	総開所日
放課後等デイサービス (平日)	1,009人	160日
放課後等デイサービス (休日等)	557人	99日
児童発達支援	0人	0日

※ (休日等) は、土曜日・祝祭日・学校教育法施行規則に規定する休日

4. 共通事項

(1) 安全管理・危機管理

- 感染症 (新型コロナウイルス・インフルエンザ・O-157・ノロウイルス) 対策を強化し、衛生管理の徹底については、個々の事業所で実施した
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策委員会を開き、感染拡大防止・衛生管理に努めた
- 防災避難訓練を、2回実施した
- 洪水時避難訓練を、1回実施した

(2) 地域交流

- フェスタはばたけ 13th へ参加し、利用児者の家族や地域の方との交流を図った○ 学校訪問や利用児者見学対応を行った
- 地域イベントに積極的に参加し、地域の方との交流の機会増加に努めた

(3) 職員研修

- 法人内部で職員に対し、基礎研修・現任研修の充実を図った。
- 外部研修へ積極的に参加し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った
- 各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った
- 各種専門職の資格取得の奨励を行った





## IV. 法人運営

### 1. 理事会、役員会

令和4年 4月22日

第66回理事会

第1号議案 重度障害者グループホーム建設に係る土地購入に関する事項

令和4年 5月27日

第67回理事会

第1号議案 令和3年度事業計画及び活動予算に関する事項  
保護者会の在り方について 他協議報告事項4件

令和4年 8月26日

令和4年 9月22日

第68回理事会

第1号議案 令和4年最低賃金改定（10月1日）に伴う給与規定変更に関する事項

第2号議案 看護師の身分保障に関する事項

令和4年10月25日

令和5年 1月19日

令和5年 3月2日

但馬ブロック研修会報告について 他報告事項4件

新規施設整備について 他報告事項3件

第69回理事会

第1号議案 グループホーム建設に伴う土地購入資金借入に関する事項

### 2. 総会

令和4年 6月19日

第18回通常総会

第1号議案 令和3年度事業報告に関する事項

第2号議案 令和3年度活動計算書に関する事項  
監査報告

報告事項 令和4年度事業計画について

令和4年度活動予算書について

### 3. 会員（令和5年3月31日現在）

正会員 56名

賛助会員 37名

寄附者 105件

